

長野県の産業人材開発施策等の一覧 (人材育成施策部分の要約)

資料 1 - 2

1

しあわせ信州創造プラン3.0（長野県総合5か年計画）

〈計画期間：2023～2027年度〉

◇産業人材育成の育成・確保

【めざす姿】リスキリング・リカレント教育等に取り組みやすい環境が整備され、産業構造の変化に対応するための知識やスキルをいつでも学べることにより、産業界が求める人材が育成・確保されています。

県関与のリカレント（リスキリング）講座・訓練の受講者数（累計） （産業労働部調）	13,396人 （2017～2021年度の累計）	20,000人 （2023～2027年度の累計）	県関与の、求職者・在職者等を対象とするリカレント*（リスキリング*）講座・訓練の受講者数を集計 [過去5年間の実績と、新たな講座・訓練の開設を助案して目標を設定]
県関与のデジタル分野の講座・訓練の受講者数（累計） （産業労働部調）	4,813人 （2017～2021年度の累計）	9,000人 （2023～2027年度の累計）	県関与の、学卒者・求職者・在職者等を対象とするデジタル分野の講座・訓練の受講者数を集計 [過去5年間の実績と、新たな講座・訓練の開設を助案して目標を設定]

人口減少下における人材確保プロジェクト

【プロジェクトの方向性】あらゆる産業分野で労働不足が顕著になっている中、魅力ある職場づくりをはじめ、県外からの人材の呼び込みや多様な人材の労働参加を加速するとともに、リスキリングによる一人ひとりの労働生産性の向上や成長分野への労働移動、テレワークや兼業・副業といった「新しい働き方」に挑戦する個人や企業の取組を一層促進することにより、担い手不足が解消している社会を目指します。

2

長野県産業振興プラン

〈計画期間：2023～2027年度〉

【今後の方向性】

- ・産業の生産性向上に資する、デジタル分野の先端技術を現場に応用できる人材の育成機能強化
- ・地域企業の成長のけん引役となることが期待される中核人材を育成する仕組みの構築
- ・世界と伍するための高度人材確保体制の構築

【県の取組】

- ①各産業・業務とデジタル技術を結び付ける人材の育成・活用
- ②知識・スキルを学び続けることのできるリスキリング・リカレント教育の環境整備
- ③高度な専門的知識・経験を有する人材の育成・活用促進
- ④ダイバーシティ経営を通じた外国人材等の確保

3

信州未来共創戦略 ～みんなでつくる2050年のNAGANO～

〈2024年12月 私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議〉

◇ 信州未来共創戦略は、今の子どもたちが大人になる2050年を展望して、私たちが今から取り組むべきことをまとめたもの

戦略の柱	2050年にありたい姿	2030年に目指す旗
【4-1】 世界を視野に付加価値労働生産性を高めよう	—	民間、自治体など様々な分野のDXやリスキリングを支援する体制が充実しており、多くの事業所が積極的に取組を進めている。
【4-2】 多様な人材の労働参加と省力化投資を進めよう	◆ 多様で柔軟な働き方の実現やリスキリングの充実により、女性、高齢者、障がい者、外国人など幅広い人々の労働・社会参加が進んでいる。 ◆ 若者・女性にとって魅力ある企業は増加し、 <u>Uターンを含めて多くの方が県内での就労を希望している。</u>	◆ 学校を含む技能教育が充実し、 <u>企業におけるリスキリングの取組がしっかりと行われている。</u> ◆ <u>小中高高校生が地元の産業・事業所を知るための取組</u> （就業体験、インターンシップなどを含む。） <u>がすべての地域で実施</u> され、参加事業所数を1,000以上とする。

＜今後検討すべき具体的事例＞

- 企業における生産性向上に向けたDXやリスキリングを関係者が一丸となって推進 【4-1、2】
- 小中高を通じて地域を知り地域に学ぶキャリア教育などの取組を充実 【4-2】